ボーリング柱状図

査 名 相原駅東口アクセス路道路地質調査業務委託 ボーリングNo 事業・工事名 緯 35° 36' 19.6" 北 ボーリング名 B-No.1調査位置 東京都町田市相原町地内 経 139° 19' 55.2" 町田市道路部道路整備課 調査期間 平成 31年 2月 25日 ~ 31年 2月 26日 東 発注機 関 ボーリング 主任技師 調査業者名 代 理 人 鑑定者 責 任 者 北 0° 角 180° 使用 ハンマー 方 地 TP 半自動型 試 錐 機 KR - 100孔口標高 鉛 水平0° +140.016m E 270° 90° 東 盤 落下用具 勾 機 東 直一 西 総掘進長 エンジン ポンプ 16.45m NS75 "V 6 – D 向 配 180°南 原位置試験試料採取室掘 標 標 層 深 柱 土 色相相 記 標準貫入試験 内 深 10cmごとの 打 水 試 験 名 深試採 位 進 質 対対 験 および結果 打擊回数 回 料取へ 尺 高 厚 度 状 度 0 10 20 度 度 月 密稠 X 測 貫入 番方 定 月 义 分 調度度 (m) 10 20 30 (cm) (m) 号 法 日 (m) (m)(m)(m) (m) 50 埋 表層2cmは防塵処理舗装である 以深、シルト主体の埋土となる 含水中位、粘性中位 GL-1.40m付近までガラ、礫等を多く 混入する 土 1,15 1 1 3 15 35 3 暗 1,50 カュ 12 灰 2.00 2 1 ① 物理力学試験 3 137.02 3.00 3.00 3.15 1 1 1 2.90 3 3.48 13 2 1 33 3.95 1 4 1 34 4 Ш 含水中位、粘性中位 全体にスコリア及び炭化物をやや多 く混入する 黒 灰 5 4.15 12 12 34 3 質 かっ 褐 粘 17 15 32 2 5.47 134.22 2.80 褐 6.15 灰~ 17 18 35 2 非常に緩 6.50 ロハエロル φ2mm~50mm程度の亜円及び亜角礫 を主体とし、 全体に粘土分が多く混入する 2 3 1 6 黄褐 緩い 7.15 6 砂 30 7.45 灰 礫 132.12 2.10 7.90 含水少~中位、粘性強い 全体に礫及び火山噴出物、炭化物を 多く混入する 8.15 2 52 1 1 27 25 131.12 1.00 8.90 9.15 1 2 1 35 3 15 緩 粘 9.50 **, 含水中~やや多い φ 2mm~40mm程度の亜角礫を主体と 10.15 5 6 6 10 茶 混 30 17 中ぐ 10.45 褐 全体に粘土分が多く、局部的に10cm 程度の粘土層を挟む 砂 11.15 9 6 6 11 6 礫 30 21 11-45 128.17 2.95 11.85 12,15 2 3 2 中位 〜非 全体に φ 2mm~40mm程度の亜角礫を 常に 混入し、 所々砂分が多くなる 12 30 7 礫混り 粘土 13 127.02 1.15 13.00 褐 12.45 13.15 6 6 15 27 30 27 13.45 14.15 12 13 12 37 14 30 37 黄 14.45 密 φ2mm~40mm程度の亜角礫を主体と 15.15 16 17 22 55 な 15 灰 礫間充填物は砂と粘土である 砂 30 55 15.45 礫 16.15 9 16 10 35 16

30 35

16:45

123.57 3.45 16.45